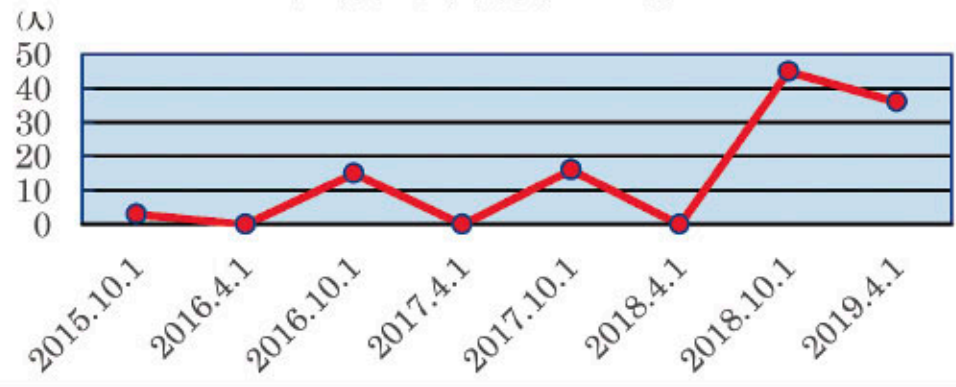




曾我部秀司 議員

松前町待機児童数



松前町の待機児童問題の原因と方策は？

問 今年の7月20日付愛媛新聞に県内待機児童に関する記事があった。

答 松前町は今年4月1日時点で36人、前年同期0人から増加に転じている。県内では松前町の待機児童が最も多い。この待機児童が増えた原因をどのように分析しているのか。

また、この原因は、新たな認定こども園の完成遅れとあるが、その進捗状況はどうなっているのか。



を見込んでいた。

開園が遅れたことにより、受皿の拡大ができず、結果として待機児童が36人となった。

青葉幼稚園の新築工事の進捗状況は、計画どおり工事を進めていると報告を受けており、今年度中に完成の予定である。

今年度末に二名保育所が閉園になるが、青葉幼稚園が認定こども園に移行すると、受入人数は約40人増える。

問 ここ数年、年度途中の待機児童が増えてきている原因は。

答 これは、0歳児から2歳児までが受入人数を超えた申込みになり、3歳児から5歳児までが保育士不足になったためだ。

問 待機児童問題は施設・保育士不足が原因であることは明らかだ。

この問題を解決し、幼児教育・保育の無償化による申し込み増に対応する保育士を確保することは、非常に困難である。

また、保育所や認定こども園の新設、民間の参入誘致など施設に関しても考えていかなければならない。今後、これらの問題に対してどのように取り組んでいくのか。

答 幼児教育・保育の無償化により今後の教育・保育ニーズがどのように変化するかを注視して、状況を把握したうえで具体的対策を検討していきたい。

要望的意見

施設・保育士を増やすことは経費のかかることなので、早期の解決は難しいが、短期的プラン、中・長期的プランを再度立案し、この待機児童問題を解決していただきたい。中・長期的プランとしては目の前の現実（保育所等に入れた、入れなかった）を見ている。そのことを忘れずにこの問題の解決に取り組んでもらいたい。